

## 第 44 卷 PDF 読本



西武飯能駅



本川越駅



# 西武鉄道

2025年1月5日 歩く鉄道作家 檜原 勉

<目次>

はじめに

第1章 西武拝島線（小平～拝島：営業キロ 14.3 km）	・・・6
第2章 西武新宿線（西武新宿～本川越：47.5 km）	・・・11
西武園線（東村山～西武園：2.4 km）	
第3章 西武秩父線（吾野～西武秩父：19.0km）	・・・24
第4章 西武池袋線（池袋～飯能～吾野：57.8km）	・・・31
第5章 西武多摩川線（武蔵境～是政：8.0 km）	・・・41
第6章 西武国分寺線（国分寺～東村山：7.8 km）	・・・44
第7章 西武狭山線（西所沢～西武球場前：4.2 km）	・・・51
西武山口線（西武球場前～多摩湖：2.8 km）	
多摩湖線（多摩湖～国分寺：9.2 km）	
第8章 西武鉄道リベンジ	・・・64
西武豊島線（西武豊島園～練馬：1.0 km）	
有楽線連結線（練馬～小竹向原：2.6 km）	
<u>総営業キロ</u>	<u>176.6 km</u>



## はじめに

本著書はデジタル形態のシリーズもので、「こだわり鉄道つたい歩き」よる PDF 読本旅日記の手記記録です。これまでの 5 巻（うち 2 巻は書籍）については、稚内から鹿児島までの日本縦断の旅について描いたもので、お陰様で執筆が完了しました。

引き続き、第 6 巻目からは、“日本横断歩き鉄の旅”について連載しています。第 39 弾目として、山手線・中央本線などに接続する、東京都・埼玉県を走る、西武鉄道の旅（総営業キロ 176.6 km）について執筆させて頂きました。

本作品はカッシー館にある榎原勉文庫拡充で閲覧可能です。また、国立国会図書館でご承認を得れば、通算 54 作目の著書として国立国会図書館でも閲覧できます。

（2004 年 6 月～2022 年 12 月で踏破）

※第 1 章～第 7 章の西武鉄道の路線漏れや駅舎掲載不備は、第 8 章（西武鉄道リベンジ）に基づき修正した。

こだわり鉄道つたい歩きとは、カッシー館でもご紹介している通り、九ヶ条から構成されます。

1. ウォークマンを聴きながら一人歩きを楽しむ
2. “鉄道案内人”に従って各駅を踏破する
3. メモや写真をとりながら筋書きのないドラマを楽しむ
4. 必殺仕事人の心境で歩く
5. 出発点は先憂後楽の考えに基づき決める
6. 歩く鉄道営業キロは季節を考慮して決める
7. 活動記録をとっている
8. 青春 18 きっぷを極力活用する
9. 東横インを極力活用する

<ご参考>

本著書に登場する駅舎は、“日本横断歩き鉄の旅“PDF 読本シリーズ中、カッシー館のブログに登場する「榎原勉文庫拡充」にて、次のPDF 読本からダイジェスト版でもご閲覧頂けます。

第 42 編（日本横断歩き鉄の旅）

# 西武鉄道



西武新宿線  
航空公園駅

2022年12月30日 歩く鉄道作家 榎原 勉

## 第1章 西武拝島線

### 第1節 拝島～玉川上水

拝島(13:30)～西武立川(14:20)～西武砂川(14:55)～玉川上水(15:30)

平成16年6月21日(月)、本日より23日(水)までリフレッシュ休暇(30年勤続)を利用し、西武鉄道の拝島線に急遽挑戦する。本線は昨日挑戦しようと思ったが、生憎家事都合となり本日となる。午前中、長男に保険を加入してもらった保険料引き去りの手続きのため、みずほ銀行相模大野支店に出向く。その関係で午後のスタートとなる。町田に着くや否や若干小雨となり、1時間静観するため淀橋カメラ町田店で時間をつぶす。1時間前と遜色なかったのですが、JR町田駅から八王子駅まで横浜線に向かう。天候が思わしくないのにもかかわらず、衝動的に切符を買ってしまったので、現地に向かうのに気力が半減した。ベルが鳴っていたので、行き先を確認せず飛び乗った。八王子駅から八高線で拝島駅に向かう予定のところを、誤って2番ホームの東京行きに乗る。何となくおかしいと思っているうちに豊田駅(昔は浅川駅と呼んでいたらしい)に到着する。急いで行き返したが、八王子駅発12時37分の電車に1分位の違いで川越行きに乗り遅れる。次の電車は13時9分であった。30分の待ち時間を利用して、八高線踏破の際立ち寄ったことのある、駅構内の「小竹林」の蕎麦屋で昼食をとる。



※拝島駅

拝島駅には13時30分到着。この駅は西武拝島線に加え、八高線、青梅線、五日市線があり複雑な地形となっている。それ故、第1歩をどちらに進むべきか数分時間を要した。思案した結果、西武新宿線(急行)の動向を見て進むことにした。この決断が功を奏し、西武立川駅への道を見つける。途中、昭島市立堀向児童遊園や西砂小学校南門(14時15分)を通り、西武立川駅には14時20分到着する。線路をよく見ると、拝島駅＝西武立川駅間は単線であった。しかし、西武立川駅、武蔵砂川駅それから玉川上水駅は

無人駅ではなく駅員さんがいた。一昨日の関東鉄道とは大違いである。線路と一般道を区別するため、杭と針金がペアとなったブロックが線路沿いにあった。西武立川駅を過ぎた辺りから、小雨模様が急変し、四国地方台風上陸の影響で雨が強くなる。14時55分、武蔵砂川駅に駆け込み5分程度雨宿りをする。



※西武立川駅、西武砂川駅

少し小雨になったので、2.4Km先の玉川上水駅に向かう。この駅を5分行った辺りから、再度雨脚が強くなる。しかし、雨宿りをするような箇所がなく、左手で傘をさした関係（銀行手続きの書類を雨に濡らさない配慮）でシャツの右肩部分とズボンの裾部分を中心にびしょ濡れになる。無論靴はそれ以上であった。途中で線路をみたところ、武蔵砂川駅から玉川上水駅まではまた単線となっていた。ただし、かつてはこの区間は複線であったと思われる。施設は複線用になっているし、進行方向に対し、左側にはかつて営業したと思われる線路が横たわっていた。ここにも、経営努力の痕跡が見えた。やっとのことで、15時30分玉川上水駅に駆け込む。タオルでびしょ濡れの衣服の水分を吸い取り、電車に乗り込む。運良くこの駅は、多摩モノレール線が接続しており、4両編成のモノレールに乗り多摩センターまで行く。料金は、400円であり、尾瀬のハイキングの際先輩から「この線路は目が飛び出るくらい高い」と聞かされていたので、400円は安いと感じた。この多摩モノレール線は来る7月17日（土）に第14回わいわい会（高松一高同窓会歩こう会）で踏破の予定であり、下見ができよかった。川か2箇所あり、なかなか戦略的なコースに思えた。



※玉川上水駅

本日の営業距離は7.1Km、万歩計は23,715歩だった。自宅には17時43分到着。本日も予期せぬドラマがあり、途中で中止するハプニングが起きたが、それなりに有意義な一日であった。ただ、台風の影響で夏至の日没を確認できなかったのが残念である。

## 第2節 玉川上水～小平

玉川上水(9:45)～東大和(10:15)～小川(11:15)～萩山(11:55)～小平(12:20)

玉川上水駅からの続きは、リフレッシュ休暇の最後日(2004年6月23日(水))を利用し挑戦する。第118回目のウォーキングである。本来ならば、台風一過で好天な昨日、上総中野まで移動し小湊鉄道のつたい歩きを予定していたが、急遽家内が田舎に帰る用事ができたため見送る。そのようなことで、比較的近場の本コースを選定した。朝愛犬セブンを散歩させた関係で、自宅を8時頃出る。本日も、6月21日(水)の帰りをリポートする方法(多摩モノレール線経由)で玉川上水に向かう。多摩センター駅には、NHK大河ドラマ「新選組」の垂れ幕があった。また、万願寺駅から徒歩5分のところに新選組のイベントがあるとの掲示版があった。玉川上水駅には9時45分に到着する。



※東大和駅、ほたるの里

玉川上水駅前には、沢山の自転車が 50m位の区間に理路整然と横たわっていた。都立東大和高校がある通り経由で、東大和市には 10 時 15 分到着。この駅は青梅街道に面しており、せせらぎのある「ほたるの里」へのウォーキングコースに繋がっていた。アジサイがとても綺麗だった。幼稚園児がせせらぎで野外活動する場面に出くわした。小さい紐でザニガニを捕獲しようとしている児童もいた。私の子供の頃は、長い草で輪を作りザニガニの手につけ吊り上げたものである。水澄ましが気持ちよく小川を泳いでいた。夏の訪れを感じた。300m位続くほたるの里の次は、雑木林のみち「玉川・野火止コース」があった。川には 2 羽の鴨が気持ちよさそうに水浴びをしていた。



※野火止用水、さくら公園

<野火止用水>

市の南端を流れる用水で、川越城主の松平伊豆守信綱が 1655 年（承応 4 年）玉川上水から分離させたこと。

小平市にある「さくら公園」に 11 時到着。この公園には、新芽という題材の高さ 2m 位像があった。鉄道に沿った道がないため 200~300m位迂回を余儀なくされる。本日は、これを皮切りに数度回り道をする破目になる。特に小平駅から花小金井駅でこの事態が多発する。そのため、通常の営業距離に比べ 3 割増し位は多く歩くことになる。



※小川駅、萩山駅

小川駅には11時15分到着する。小川駅から萩山駅までの行程も骨が折れる。八坂の交差点で地図を確認し、ミスを防止する。左手に八坂駅を見かけた辺りに交番があり、念のため、萩山駅への方角を確認する。この近郊は3年前武蔵野線踏破の際来たことがあり、地形の複雑さに学習効果が蘇ったためである。道なりに先ず、拝島線行きの線路の交差点を渡る。次に一橋学園、国分寺方面の線路を横切った先に萩山駅があった。1.6Kmある小川駅＝萩山駅間を30分要し、11時55分に到着。萩山駅から小平駅間も本川越からの線路があり、神経を費やした。小平駅前（12時20分）には涼しそうな木々があり、弁当を広げている人がいた。拝島線はこの小平駅で終了である。



※小平駅